



2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月14日

上場会社名	株式会社GameWith	上場取引所	東
コード番号	6552	URL	https://gamewith.co.jp
代表者（役職名）	代表取締役社長	（氏名）	今泉 卓也
問合せ先責任者（役職名）	取締役	（氏名）	日吉 秀行
（TEL）	03-6722-6330		
半期報告書提出予定日	2026年1月14日	配当支払開始予定日	—
決算補足説明資料作成の有無	：有		
決算説明会開催の有無	：有	(機関投資家及びアナリスト向け))
			(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年6月1日～2025年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期中間期	1,962	17.5	54	—	67	—	32	—
2025年5月期中間期	1,670	△9.9	△174	—	△174	—	△186	—

(注) 包括利益 2026年5月期中間期 40百万円(-%) 2025年5月期中間期 △189百万円(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期中間期	1.84	1.84
2025年5月期中間期	△10.70	—

(注) 2025年5月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期中間期	3,467	2,716	78.3
2025年5月期	3,347	2,675	79.9
(参考) 自己資本 2026年5月期中間期	2,716百万円	2025年5月期 2,675百万円	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年5月期	—	0.00	—	—	—
2026年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	3,700 ~3,900	7.1 ~12.9	0 ~100	— —	0 ~100	— —	0 ~100	— ~5.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年5月期の連結業績予想についてはレンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 当中期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年5月期中間期	18,348,200株	2025年5月期	18,348,200株
② 期末自己株式数	2026年5月期中間期	885,055株	2025年5月期	885,055株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年5月期中間期	17,463,145株	2025年5月期中間期	17,463,160株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2026年1月14日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(中間連結損益計算書)	5
(中間連結包括利益計算書)	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、「ゲームをより楽しめる世界を創る」を企業理念に掲げ、ゲームに関する様々な事業を展開し、当社グループの事業成長に注力してまいりました。

当中間連結会計期間の売上高は1,962百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益は54百万円（前年同期は営業損失174百万円）、経常利益は67百万円（前年同期は経常損失174百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は32百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失186百万円）となりました。主な変動要因は、後述のセグメント別の業績に詳述のとおりとなっております。

また、当中間連結会計期間より、当社グループ内の業績管理の方法を一部見直したことにより、セグメントを従来の「メディア」「eスポーツ・エンタメ」の2区分から、「メディア」「eスポーツ・エンタメ」「ISP」の3区分へと変更いたしました。「ISP」には、従来「その他」に含まれていた光回線事業に関する事業を集約しております。

なお、当中間連結会計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

セグメント別の業績は以下のとおりでございます。

① メディア

メディア事業の売上高は1,196百万円（前年同期比20.8%増）、営業利益は368百万円（同38.4%増）となりました。

当中間連結会計期間においては、PV単価改善施策によりPV単価が上昇していたことで、「メディア広告」による収益が増加いたしました。「メディアソリューション」による収益についても、タイアップ商材の販売が好調であり、売上高・営業利益ともに増加しております。

② eスポーツ・エンタメ

eスポーツ・エンタメ事業の売上高は474百万円（前年同期比19.1%増）、営業損失は41百万円（前年同期は営業損失110百万円）となりました。

当中間連結会計期間においては、eスポーツにおける高額な大会賞金収入が発生したことに加え、タイアップ案件の獲得が好調に推移したことから、売上高および営業利益は前年を大きく上回りました。競技成績が売上向上に直結する構造であることから、引き続きチーム価値向上に向けた経営資源の投下を継続しております。

③ ISP

ISP事業の売上高は211百万円（前年同期比28.9%増）、営業損失は8百万円（前年同期は営業損失60百万円）となりました。

ISP事業については、eスポーツを楽しむユーザー層の拡大を背景に、ゲームを快適にプレイするために必要とされる高速かつ低遅延の光回線サービス「GameWith光」を提供しており、サービス立ち上げ時から、中長期的な収益最大化を見据えてユーザー獲得に向けた積極的なプロモーションを展開してまいりました。

当中間連結会計期間においては、契約者数が順調に増加するとともに、事業効率化を進めたことにより費用を抑制できた結果、売上高・営業利益ともに成長いたしました。

④ その他

その他の売上高は80百万円（前年同期比31.9%減）、営業損失は57百万円（前年同期は営業損失84百万円）となりました。

その他においては、企業理念である「ゲームをより楽しめる世界を創る」を実現するため、ゲームに関する様々な事業を行っております。現在は、投資先の株式会社Kyuzanよりプロモーション等の受託をしているNFTゲーム「EGGCRYPTO」に注力しております。

当中間連結会計期間においては、「EGGCRYPTO」にて他社IPとのコラボイベントを実施するなど、ユーザー拡大に取り組んでおりましたが、売上高は他社IPとのコラボイベントが好調であった前年の水準を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は3,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が144百万円増加したものの、現金及び預金が44百万円、未収消費税等が7百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は751百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が68百万円、未払法人税等が22百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が44百万円、未払金が10百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は2,716百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が32百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ44百万円減少し、2,098百万円となりました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は64百万円(前年同期は296百万円の支出)となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前中間純利益62百万円、減価償却費12百万円、仕入債務の増加68百万円、法人税等の還付額27百万円、減少要因として売上債権の増加144百万円が発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は65百万円(前年同期は89百万円の支出)となりました。これは主に、減少要因としてその他に含まれる無形固定資産の取得による支出51百万円が発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は44百万円(前年同期は128百万円の支出)となりました。これは、減少要因として長期借入金の返済による支出44百万円が発生したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年7月9日の「2025年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,142,876	2,098,650
売掛金及び契約資産	494,466	638,653
前払費用	85,166	80,638
未収消費税等	17,716	9,743
未収還付法人税等	27,079	-
その他	10,796	12,123
流動資産合計	2,778,102	2,839,808
固定資産		
有形固定資産	52,782	40,444
無形固定資産		
その他	48,195	99,405
無形固定資産合計	48,195	99,405
投資その他の資産	468,002	488,287
固定資産合計	568,980	628,136
資産合計	3,347,082	3,467,945
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,575	246,674
1年内返済予定の長期借入金	44,981	-
未払金	87,104	76,418
未払費用	137,663	134,378
未払法人税等	14,040	36,231
賞与引当金	81,086	79,203
ポイント引当金	371	352
その他	96,805	147,542
流動負債合計	640,629	720,802
固定負債		
資産除去債務	30,966	30,984
固定負債合計	30,966	30,984
負債合計	671,595	751,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,809	553,809
資本剰余金	552,808	552,808
利益剰余金	1,963,286	1,995,392
自己株式	△400,062	△400,062
株主資本合計	2,669,841	2,701,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,900	14,555
為替換算調整勘定	△1,254	△344
その他の包括利益累計額合計	5,645	14,211
純資産合計	2,675,487	2,716,158
負債純資産合計	3,347,082	3,467,945

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
売上高	1,670,531	1,962,594
売上原価	1,131,060	1,201,210
売上総利益	539,471	761,383
販売費及び一般管理費	714,388	706,703
営業利益又は営業損失(△)	△174,917	54,680
営業外収益		
受取利息	247	1,859
持分法による投資利益	700	4,641
投資事業組合運用益	1,882	4,132
為替差益	-	3,836
その他	117	328
営業外収益合計	2,948	14,797
営業外費用		
支払利息	591	36
為替差損	1,601	-
損害賠償金	-	1,330
その他	94	131
営業外費用合計	2,287	1,498
経常利益又は経常損失(△)	△174,257	67,980
特別損失		
減損損失	-	5,435
特別損失合計	-	5,435
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△174,257	62,544
法人税、住民税及び事業税	5,114	27,208
法人税等調整額	7,446	3,229
法人税等合計	12,561	30,437
中間純利益又は中間純損失(△)	△186,818	32,106
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△186,818	32,106

(中間連結包括利益計算書)

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
中間純利益又は中間純損失（△）	△186,818	32,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,169	7,655
為替換算調整勘定	114	909
その他の包括利益合計	△3,054	8,565
中間包括利益	△189,873	40,671
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△189,873	40,671
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△174,257	62,544
減価償却費	12,194	12,538
減損損失	—	5,435
のれん償却額	13,305	—
売上債権の増減額（△は増加）	△111,627	△144,186
未収消費税等の増減額（△は増加）	△17,638	7,972
仕入債務の増減額（△は減少）	66,028	68,098
未払金の増減額（△は減少）	△9,619	△7,165
損害賠償金	—	1,330
その他	△62,710	38,361
小計	△284,324	44,931
利息の受取額	247	1,859
利息の支払額	△556	△14
法人税等の支払額	△21,234	△7,947
法人税等の還付額	9,689	27,079
損害賠償金の支払額	—	△1,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	△296,177	64,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△13,424	—
子会社株式の取得による支出	△56,250	—
その他	△19,423	△65,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,098	△65,567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△128,335	△44,981
自己株式の取得による支出	△4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,339	△44,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	△653	1,744
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△514,269	△44,225
現金及び現金同等物の期首残高	2,828,978	2,142,876
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,314,709	2,098,650

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(中間連結キャッシュ・フロー計算書)

前中間連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「仕入債務の増減額」は、金額的重要性が増したため当中間連結会計年度より独立掲記することとしました。

この結果、前中間連結会計年度の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた3,318千円は、「仕入債務の増減額」66,028千円、「その他」△62,710千円と組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	中間連結 財務諸表 計上額
	メディア	eスポーツ ・エンタメ	ISP	計				
売上高								
メディア広告	407,611	—	—	407,611	—	407,611	—	407,611
メディアソリューション	552,864	—	—	552,864	—	552,864	—	552,864
eスポーツクライアント	—	276,785	—	276,785	—	276,785	—	276,785
eスポーツファンビジネス	—	94,278	—	94,278	—	94,278	—	94,278
ISP	—	—	157,588	157,588	—	157,588	—	157,588
その他	30,073	26,984	6,137	63,196	118,206	181,403	—	181,403
顧客との契約から生じる収益	990,549	398,049	163,726	1,552,324	118,206	1,670,531	—	1,670,531
外部顧客への売上高	990,549	398,049	163,726	1,552,324	118,206	1,670,531	—	1,670,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	990,549	398,049	163,726	1,552,324	118,206	1,670,531	—	1,670,531
セグメント利益又は損失(△)	266,181	△110,307	△60,255	95,618	△84,264	11,353	△186,271	△174,917

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、NFT事業等を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	中間連結 財務諸表 計上額
	メディア	eスポーツ ・エンタメ	ISP	計				
売上高								
メディア広告	492,878	—	—	492,878	—	492,878	—	492,878
メディアソリューション	603,410	—	—	603,410	—	603,410	—	603,410
eスポーツクライアント	—	218,419	—	218,419	—	218,419	—	218,419
eスポーツファンビジネス	—	79,472	—	79,472	—	79,472	—	79,472
ISP	—	—	211,005	211,005	—	211,005	—	211,005
その他	100,654	176,305	—	276,959	80,449	357,408	—	357,408
顧客との契約から生じる収益	1,196,943	474,197	211,005	1,882,145	80,449	1,962,594	—	1,962,594
外部顧客への売上高	1,196,943	474,197	211,005	1,882,145	80,449	1,962,594	—	1,962,594
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,196,943	474,197	211,005	1,882,145	80,449	1,962,594	—	1,962,594
セグメント利益又は損失(△)	368,465	△41,871	△8,243	318,350	△57,947	260,402	△205,721	54,680

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、NFT事業等を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、当社グループ内の業績管理の方法を一部見直したことにより、従来の「メディア」「eスポーツ・エンタメ」の2区分から、「メディア」「eスポーツ・エンタメ」「ISP」の3区分へと変更いたしました。「ISP」には、従来「その他」に含まれていた光回線事業に関する事業を集約しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。